

5月10日：安値拾いの買いが広がり、VN指数は反発

VN指数は3日ぶりの反発。投資家の安値を拾う動きから大型株が上昇した。

ホーチミン市場のVN指数は1.89%（23.94ポイント）高の1,293.56ポイントで取引を終えた。同指数は直近2日間で合わせて90ポイント以上下落していた。

騰落別では280銘柄が上昇、68銘柄が下落した。また上昇銘柄のうち、23銘柄がストップ高をつけた。しかし出来高は前日と比べてわずかに減少した。売買高は約5億4,630万株、売買代金は14兆3,000億ドン（6億2,610万米ドル）となった。

ファンダメンタルズが良好な割安株に投資家の買いが集まり、大型株の多くが上昇した。

VN30指数は2.39%（31.42ポイント）高の1,345.46ポイントで取引を終えた。

騰落別では28銘柄が上昇、2銘柄が下落した。

ベトコムバンク（VCB）は2.7%高と、マーケットの上昇をけん引した。ビンホームズ（VHM）+2.79%、ベトナム投資開発銀行（BID）+3.92%、VPバンク（VPB）+4.72%、ペトロベトナムガス（GAS）+2.96%といった大型株が買われた。

不動産株は引き続き投資家の買いを集めた。主な値上がり銘柄に、ベカメックス IDC（BCM）+6.94%、ビンググループ（VIC）+1.64%、DIC不動産（DIG）+5.16%、ファットダット不動産開発（PDR）+4.38%が含まれた。

本日のマーケットの動きは、サイゴンハノイ証券（SHS）の予想に沿ったものとなった。同社は投資家に向けたデیلیーレポートの中で「火曜日の午前中にVN指数は下げる可能性があるかもしれない。もし1,225～1,250ポイントの下値支持線で底値を拾う動きが十分見られるなら、VN指数は上昇する可能性があるだろう」としていた。

また「マーケットが下げれば、長期投資家にとって成長期待のファンダメンタルズが良好な銘柄を買い入れるチャンスとなる」とし、「短期投資家は、当社のウォッチリストを参考にするのが良いだろう」としていた。

ハノイ市場のHNX指数も反発した。同指数は2.05%（6.63ポイント）安の330.02ポイントで取引を終えた。

売買高は約6,460万株で、売買代金は1兆2,600億ドンを超えた。

外国人投資家はハノイ市場で7,147億ドンを買い越すも、ハノイ市場では410億ドンを売り越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。